



全難聴便り

発行：事務局 〒162-0066
東京都新宿区市谷台町14-5 MSビル市ヶ谷台1F
編集：全難聴事務局
電話：03(3225)5600
FAX：03(3354)0046
URL：<http://www.zennancho.or.jp>
E-Mail：zennacho@zennancho.or.jp

👉 フェーンカジ（南風）に乗せて、 全難聴福祉大会 in 沖縄開催！！ （1月25日～27日）

海を司る神様をお迎えする神事「ウングミ（海神祭）」を表紙にした大会誌に象徴される、守礼の邦沖縄で、初めての全国福祉大会が開催されました。

全国の地域協会が主管となって開催される全難聴福祉大会は、それぞれの風土に根付いた大会となります。

ここ沖縄では、参加者に歴史に目を向ける機会を提供すると同時に、若い会員の力が大会運営を押し進めていることがそこかしこに見え、とても元気がでる大会でした。

分科会

- 第1分科会



新谷副理事長が座長となり、生活の基板となる「就労」にかかわる中途失聴者・難聴者の抱える様々な課題について話し合いをしました。

勝連文緒沖縄協会役員より、沖縄での手帳交付データ、就労に関する特性や共生社会の中で生き方について報告がされました。新谷座長よりデータを含めた解説が行なわれ、質疑応答となりました。

第二部は、地域での繋がりに関してパネルディスカッションが行なわれ、難聴児童をもつ親としての報告や、人間関係の作り方について、地域との繋がりについての問題提起がなされました。この中では、「ゆいまーる」という沖縄独特の結びつきが他の地域でも活用可能とのお話がありました。



踊りの女神カツレンと、魔力に導かれて踊るリジチャー（写真：島村様@岐阜）

● 第2分科会

高岡理事長が座長を務めた第2分科会は、「情報保障の目指すもの」というテーマで、藤谷理事、全要研三宅理事長など情報保障の最前線に関わる講師による派遣事業、モデル要綱に関する説明に加え、要約筆記者の養成事業の現状などについて詳しく講演が行なわれました。沖縄県福祉課、及び全要研沖縄支部からも地元の現状について報告がなされました。



第2分科会では、PC 要約筆記、磁気テープ以外にモバイル情報保障も行なわれ、文字情報を手元で見ることができました。

● 第3分科会



女性部長永末理事が座長を務める「沖縄の歴史とおばあに学ぶ長生きの秘訣」には分科会最多の83名の参加者が集まりました。

特別講師の北海道生まれ沖縄在住の歌手、会沢芽美さんによる歌や歴史を交えた一人芝居、講話が行なわれました。

シリアスな話題のあとの休憩では「月桃茶」「シークワサー」がふるまわれ、その後の歌と踊りの体験では、衣装も整えた参加者が楽しく体を動かす時間が流れました。



そしてその勢いは、夜の懇親会に引き継がれ、前ページの踊りの女神降臨となりました。

二日目の全体会の後に行なわれた記念講演は、中等度難聴ながら沖縄の環境保護、障害者の人権活動に関わる弁護士の岡島実氏による「権利ってなんだろう」でした。

※分科会、全体会を通じてNHK「ろうを生きる難聴を生きる」が取材をしました。2月9日に放映されます。

次回の全難聴福祉大会は「美し国、三重」にて開催されます。

◎ 全難聴ロゴマーク決定！！

沖縄福祉大会全体会にて発表

昨年の8月1日から10月31日まで、全難聴のシンボルとなるロゴマーク案の公募をいたしました。

デザインを職業にしている方から、学んでいる人、難聴者を親族にもつ主婦まで全部で424件の応募がありました。



3次にわたる厳正な審査の結果、高知県在住のグラフィックデザイナー、濱口温男さんの作品が最優秀賞に選ばれ、全難聴ロゴマークとして採用されました。

沖縄福祉大会全体会の中で瀬谷理事により発表されたこのマークは、「向上」「理想郷」「熱き思い」を表します。

(※ロゴ使用例は4ページに)

📌 障害者権利条約批准

日本は1月20日、国連事務局（ニューヨーク）に障害者権利条約の批准書の寄託を行いました。国内で効力が発効するのは、30日後の2月19日です。

1月27日現在権利条約を批准している国や地域（EU）の中で日本は141番目の批准国となりました。

(United Nation 国連サイトより)

全難聴の活動に長くご協力いただいた長尾重之様が病氣療養中の昨年11月29日の早朝、心筋梗塞にて急逝されました。

全難聴常務理事として長く在籍され、機関誌部、人工内耳部門での活躍の後、補聴医療対策部として活動をされていました。国際部の会議にも出席され、ご意見を述べられていたのは記憶に新しいところです。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

長尾様の略歴を簡単に記します。

長尾重之（ながおしげゆき）昭和14年9月27日生まれ
昭和54年横浜市中途失聴・難聴者協会設立発起人となる
昭和61年～62年全国難聴者連絡協議会副事務局長
昭和62年～平成元年 同 事務局長
平成元年～平成4年全難聴常務理事
平成4年～平成14年（社）全難聴常務理事
平成14年～平成16年（社）全難聴理事
平成16年厚生労働大臣表彰受賞

全難聴事務局長 佐野 昇

横浜市協会よりお願い

皆様からの故長尾氏への思い出やコメントなど寄稿していただき故人を偲ぶ追悼文を掲載したいと思います。2月10日までにお寄せください。

協会連絡先 E-Mail : hamananchou1@hamashinren.or.jp FAX : 045-413-5488

長尾様のご逝去の報に接し、ただ驚いております。

生前は全難聴の国際部のお仕事で御一緒させていただきましたが、いつも真摯に取り組む姿勢には学ぶものが多くありました。

ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

全難聴女性部相談役 全難聴情報文化部 須山優江

📌 理事の動き（1/1～1/31）

- 1月14日 JDF ニューイヤー交流会（高岡）
- 1月16日 視聴覚障害者4団体勉強会（高岡、新谷）
- 1月17日 警視庁運転免許ヒアリング（小川）
- 1月18日～19日 金沢市要約筆記研修会（高岡）
- 1月20日 障害者政策委員会ヒアリング（新谷）
- 1月21日 障害者向け郵便に関する小委員会（新谷）
- 1月22日 JDF 幹事会（新谷）
- 1月22日 JDF 厚労省との会合（新谷）
- 1月23日 聴覚障害者中央本部拡大会議（川井）
- 1月25日 沖縄大会分科会（理事）
- 1月26日 沖縄大会式典、記念講演（理事）
- 1月28日 第7回改正障害者雇用促進法に基づく差別禁止・合理的配慮の提供の指針のあり方に関する研究会（高岡、川井）
- 1月31日 障害者放送協議会合同委員会（高岡、小川）



一般社団法人
全日本難聴者・中途失聴者団体連合会

📌 事務局報告

- 1月16日 視聴覚障害者4団体勉強会
- 1月23日 日本補聴器販売店協会・技能者協会来所
- 1月24日 沖縄大会準備
- 1月25日 沖縄大会分科会、展示
- 1月26日 沖縄大会式典、展示
- 2月1日 全難聴だより No. 68 発行

《予定》

- 2月3日 第11回障害者政策委員会
- 2月8日 NHK番組検討会
- 2月8日 JDF 国際委員会
- 2月15日 全難聴常務理事会、理事会
- 2月16日 全難聴理事会
- 2月20日 JDF 幹事会
- 2月23日 第3回全国統一要約筆記者認定試験

全難聴理事会、総会日程

平成26年

- ・2月15日（土）常務理事会、理事会
- ・2月16日（日）理事会
（総会は6月になります）
- ・5月18日（日） 決算承認理事会
- ・6月7日（土）平成26年度総会
- ・6月8日（日）理事会（新役員）
- ・8月30日（土）理事会
- ・10月25日～27日 三重大会（四日市市）

平成27年

- ・2月14日（土）予算承認理事会



上記日程にもありますが、次回の全難聴福祉大会は、10月25日から27日まで、「美し国」三重県で開催されます。沖縄大会での時期開催地プレゼンテーションで、高まっているテンションを是非大会まで維持してください！！